

# 議 事 録

会 議 名	令和6年第1回守山警察署協議会																														
日 時 ・ 場 所	令和6年3月8日(金) 午前10時00分から午前11時50分までの間 ----- 守山警察署 講堂																														
出 席 者	<p>1 委員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">菅沼 正壽</td> <td style="width: 33%;">会長</td> <td style="width: 33%;">前川 千春</td> <td>副会長</td> </tr> <tr> <td>坂 英雄</td> <td>委員</td> <td>正治 美知子</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>長谷川 裕子</td> <td>委員</td> <td>原田 望</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>山田 美和</td> <td>委員</td> <td>河合 勝人</td> <td>委員</td> </tr> <tr> <td>牛場 雅人</td> <td>委員</td> <td>村濱 稚都子</td> <td>委員</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上10名(定数12名)</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">杉本 署長</td> <td style="width: 50%;">迫村 副署長</td> </tr> <tr> <td>池田 警務課長</td> <td>谷口 会計課長</td> </tr> <tr> <td>廣 生活安全課長</td> <td>伊藤 地域課長</td> </tr> <tr> <td>若尾 刑事課長</td> <td>服部 交通課長</td> </tr> <tr> <td>渡邊 警備課長</td> <td>濱田 幹部交番所長</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">以上 10名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等 なし</p>	菅沼 正壽	会長	前川 千春	副会長	坂 英雄	委員	正治 美知子	委員	長谷川 裕子	委員	原田 望	委員	山田 美和	委員	河合 勝人	委員	牛場 雅人	委員	村濱 稚都子	委員	杉本 署長	迫村 副署長	池田 警務課長	谷口 会計課長	廣 生活安全課長	伊藤 地域課長	若尾 刑事課長	服部 交通課長	渡邊 警備課長	濱田 幹部交番所長
菅沼 正壽	会長	前川 千春	副会長																												
坂 英雄	委員	正治 美知子	委員																												
長谷川 裕子	委員	原田 望	委員																												
山田 美和	委員	河合 勝人	委員																												
牛場 雅人	委員	村濱 稚都子	委員																												
杉本 署長	迫村 副署長																														
池田 警務課長	谷口 会計課長																														
廣 生活安全課長	伊藤 地域課長																														
若尾 刑事課長	服部 交通課長																														
渡邊 警備課長	濱田 幹部交番所長																														
諮 問 事 項 等	自転車・自動二輪車の交通死亡事故抑止対策																														
答 申 等 の 概 要	<p>1 高齢者を始めとした広報啓発活動のより一層の推進</p> <p>2 学校における交通安全教育のより一層の推進</p> <p>3 自動二輪車に対する速度違反の取締り強化</p>																														
そ の 他	次回開催予定は令和6年6月上旬頃とする。																														

会議の経過及び発言の要旨	
1	委嘱状交付
	委員 5 名に委嘱状を交付した。
2	会長及び副会長の選出等
	委員の互選により、菅沼委員が会長に選出され、会長は、前川委員を副会長に指名した。
3	会長、副会長挨拶
4	署長挨拶
5	守山警察署幹部紹介
6	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況(令和 6 年 2 月末日現在)
	(2) 管内の交通事故発生状況(同上)
	(3) 速度等取締指針の説明(交通課長説明)
7	前回の答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	交番・パトカーに望む地域警察活動
	(2) 答申事項
	ア 困り事への対応など、住民に寄り添う活動の推進
	イ 犯罪・交通事故抑止に向けた見せる活動の推進
	(3) 答申に対する取組結果等
	ア 答申アについて
	パトロール、職務質問、交通違反取締りなどの地域安全活動のより一層の推進
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
交番だよりの充実やパトネットあいちによる情報発信活動	
トラブルの相手方への指導、警告や事件化による積極的検挙	
警察では取り扱いできない困り事は、関係行政機関などの適切な教示	
不審火事案の解決や市民や町内会から相談が寄せられていた農作物盗	
難事案への各種対応	
イ 答申イについて	
「見せる」「聞かせる」「目立つ」地域安全活動の推進	
制服警察官によるより一層の街頭活動	
メロディーパトロールやパトカーの赤色灯を常時点灯させた	
パトロール活動	
小学生の登下校時における制服警察官による見守り活動	
交通事故ゼロの日における交差点での交通安全活動	
8 諮問	
(1) 諮問	
自転車・自動二輪車の交通死亡事故抑止対策	
(2) 諮問事項の設定理由	
ここ数年にわたり、バイクの死亡事故が連続発生している状況にある。	
また、昨年为重傷者の半数は、自転車利用者であったことから、警察と	
しては、各種取組を実施してきたが、より効果的な方策について検討する	
必要があり、諮問事項として選定した。	
9 諮問事項に対する意見	
委員 ・ 白山地区、本地が丘地区では、特に交通事故が多い印象がある。	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
慢性的に渋滞しているため、バイクのすり抜け走行が多い。信号	
サイクルなど渋滞原因の検証をしてはどうか。	
・ 自転車やバイクに乗車する際は、車の運転手が気づきやすい目立つ服装に心掛けることが重要である。	
委員	・ 自転車やバイクは、自動車のように車体に体が守られていないため、命にかかわる大きな事故につながりやすい。中でもバイクの
	スピード超過は転倒につながり危険である。
	・ 自転車は、運転免許が必要でないことから、ルールを守ることへの意識が低い。ヘルメット着用を広報しているが、特に高校生は、
	格好が悪い、髪型が乱れるなどを理由に好んで着用する者はいない。
	・ 近年、車は安全機能などが進化しているが、バイクは遅れているように感じるので、メーカーへの働きかけが必要ではないか。
委員	・ 自転車利用者は、歩行者と同じ意識で走行している。自転車は、
	歩行者ではなく、車両であるという意識を養う広報や教育が必要である。
委員	・ 自転車の性能が向上しており、バイクと同様に交通ルールに対する意識変革が必要である。
委員	・ 自転車利用者で交通ルールを守れていないのは、若年層だけでなく高齢者も同様である。高齢者への自転車に関する啓発活動を推進すべきである。
	・ 自転車は車両であり、その利用には責任が伴うという意識を醸成する教育が必要である。
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨			
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車は原則、車道走行であるが、車道の駐車車両を避けるために、大きく車線内側に入ってくることがあり、車との接触の危険性がある。自転車のための環境を整えず、自転車は車道を走行するようにと広報しても、自転車利用者も危険を避けるため、歩道走行をせざるを得ない。</li> <li>・ ヘルメットの未着用が大きながにつながっているが、罰則もない制度では、着用率は上がらない。金銭的負担を理由に着用しない者も多いので、ヘルメット購入助成金の広報に力を入れてみてはどうか。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校生などは、自転車の交通ルールを理解していない。</li> <li>・ 高校生は、運動能力や聴力などが低下してきている高齢者の気持ちが理解できていない。また、車の運転手から自転車はどう見えているかなどが分からず、思いがけない動きをすることが多い。</li> <li>・ 高校生など若年層には、高齢者や車の運転手の気持ちが理解できるような教育が効果的ではないか。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自転車の危険性を伝えるための広報啓発活動の推進が必要である。事故件数や特徴などの啓発チラシだけでなく、実際の危険走行や事故映像などを積極的に視聴させた方が、危険性が効果的に伝わると思う。文字だけでは、事故の痛みは伝わらないのではないか。</li> <li>・ 多くの人が交通安全教育を受ける機会は、運転免許証の更新時のみである。教育を受ける機会を増やさなければならない。</li> </ul>		
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 若い世代は体力があり、公道を自転車レースのように走っていて、</li> </ul>		
	<table border="1"> <tr> <td>記録者</td> <td>警務係長</td> </tr> </table>	記録者	警務係長
記録者	警務係長		

